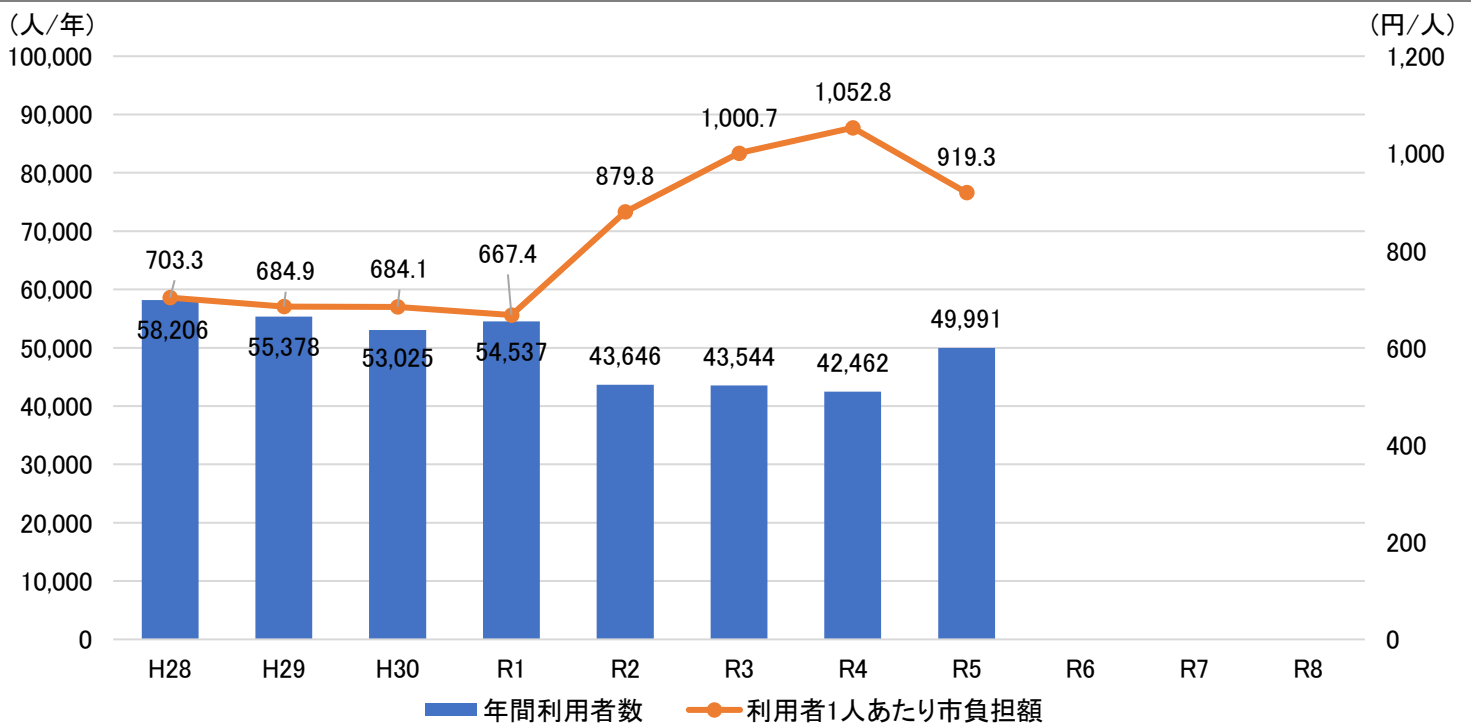


	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	58,206	13.3	703.3	13.3	54,537,490	7,272,304	40,939,000
H29	55,378	12.7	684.9	13.7	51,535,018	7,066,086	37,926,000
H30	53,025	12.1	684.1	13.3	50,988,151	6,768,363	36,277,000
R1	54,537	12.5	667.4	13.7	51,478,746	7,049,765	36,398,000
R2	43,646	10.0	879.8	11.4	52,887,870	6,010,727	38,398,000
R3	43,544	10.0	1,000.7	10.4	59,518,339	6,200,537	43,573,000
R4	42,462	9.7	1,052.8	9.9	60,751,157	6,032,595	44,703,000
R5	49,991	11.4	919.3	9.7	62,100,443	6,012,831	45,959,000
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・市街地病院循環線の廃止に伴い、関中央病院を経由する路線再編を実施 (R2.10)
- ・桜ヶ丘バス停留所を移設し関高校口・桜ヶ丘に名称変更 (R2.10)
- ・関高校生下校時間に合わせてダイヤ調整 (R4.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・関高校、山県高校などの通学や沿線企業への通勤利用者が多く、住民の生活の足として定着している。
- ・昨年度は唯一対前年度比較で利用減となったが、今年度は前年度比18%増となった。
- ・R4.4に関高校生の要望によりダイヤ調整した結果、最寄りバス停の乗車人数が1.5倍近く増加した。

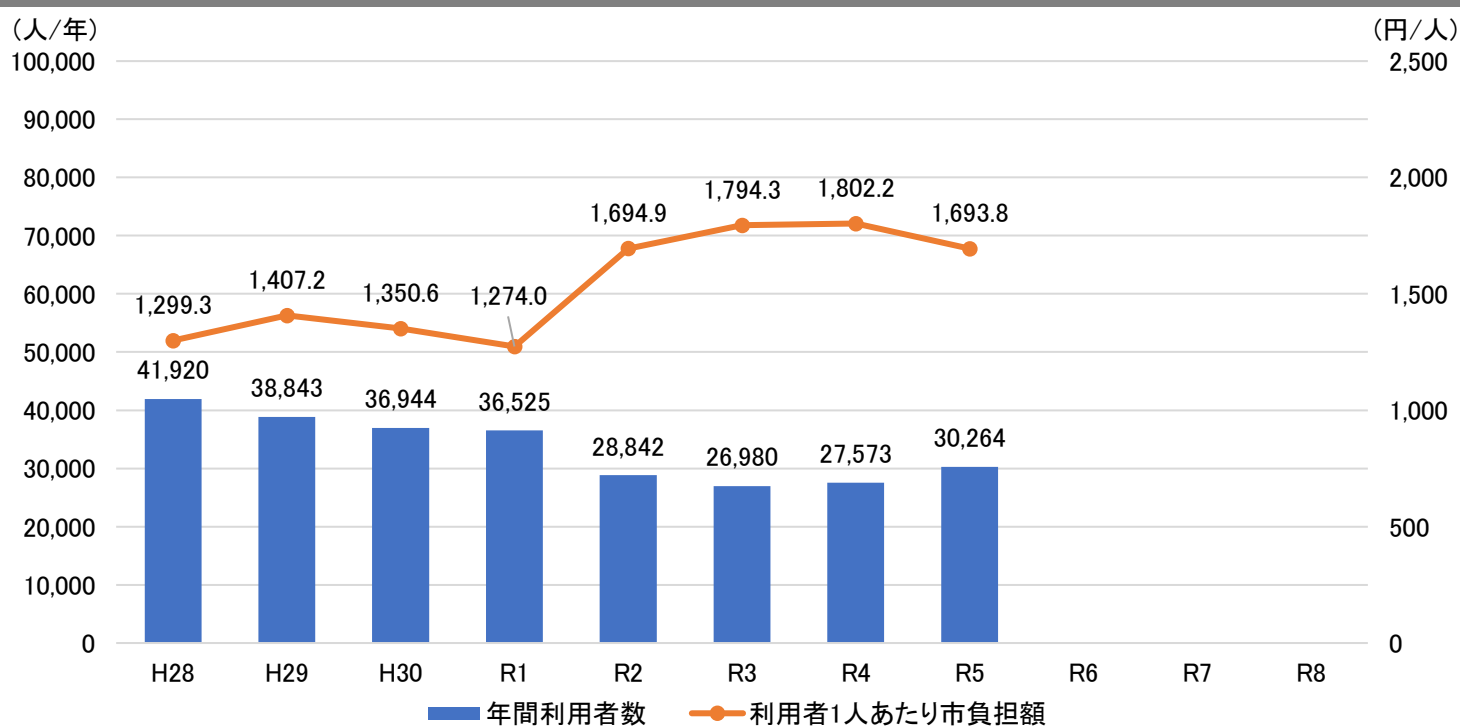
次年度以降の対応方針

- ・学生利用者もあるため、アンケート調査等でニーズを把握し、必要に応じてダイヤ改正を検討していく

関上之保線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	41,920	6.9	1,299.3	8.3	69,020,128	5,703,416	54,468,500
H29	38,843	6.4	1,407.2	7.6	69,495,375	5,293,759	54,660,000
H30	36,944	6.1	1,350.6	7.3	64,781,316	4,715,794	49,896,000
R1	36,525	6.6	1,274.0	7.2	61,027,025	4,372,647	46,531,500
R2	28,842	5.2	1,694.9	6.2	63,157,736	3,889,186	48,885,000
R3	26,980	4.8	1,794.3	5.6	62,425,789	3,493,338	48,411,000
R4	27,573	4.9	1,802.2	5.9	64,411,487	3,822,208	49,692,000
R5	30,264	5.4	1,693.8	5.3	67,094,430	3,534,329	51,260,000
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・上之保・関商工線運行開始 (H30.4)
- ・最終バス停を川合車庫から上之保事務所へ変更 (R2.10)
- ・西町バス停を移設 (R4.10)
- ・安桜山公園前の通過ダイヤ時間調整 (R6.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・高校直行便で高校生の通学や市街地への通院・買い物の足として活用されている。
- ・対前年度比10%増となった。
- ・前年度比較ではターミナルや関口駅での乗車と関商工前降車が増加しており、新規通学者の利用が生じたと考察される。

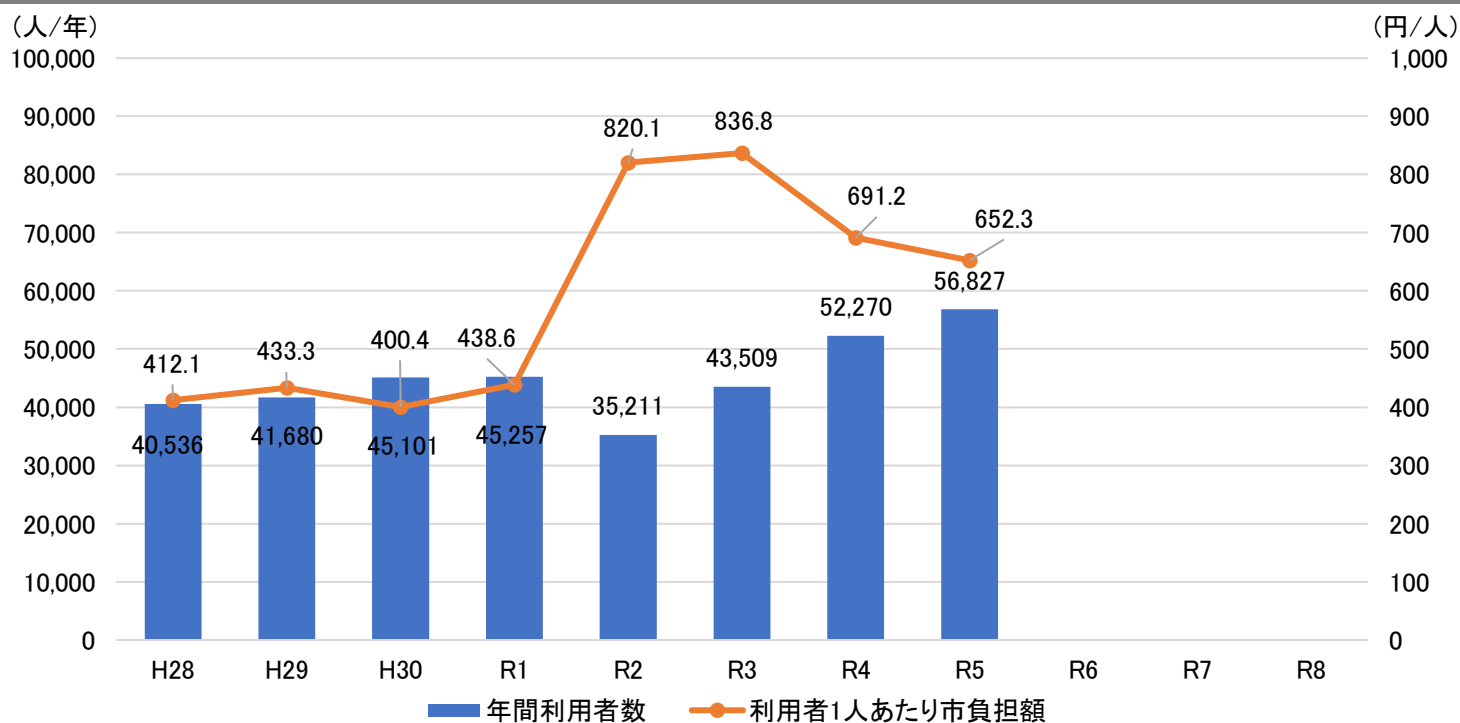
次年度以降の方針・取り組み

- ・学生利用状況を注視しながら、必要に応じてダイヤ改正等を検討していく

買い物循環線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	40,536	7.5	412.1	15.6	23,986,984	3,753,055	16,703,000
H29	41,680	7.7	433.3	15.7	23,926,000	3,758,245	18,059,000
H30	45,101	8.4	400.4	16.3	24,748,165	4,031,281	18,058,000
R1	45,257	8.4	438.6	16.5	25,655,580	4,243,272	19,849,000
R2	35,211	6.5	820.1	9.9	32,054,788	3,189,333	28,876,000
R3	43,509	6.0	836.8	9.7	40,319,640	3,910,855	36,408,000
R4	52,270	7.3	691.2	11.0	40,602,186	4,474,050	36,128,000
R5	56,827	7.9	652.3	10.5	41,408,458	4,338,747	37,069,000
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・1時間に1本の割合で運行できるよう増便 (R2.10)
- ・西町バス停を移設 (R4.10)
- ・乗継証明書発行サービス開始 (R2.10)
- ・停留所名を刃物会館前からせきてらす前へ変更 (R4.3)

利用者数等の変化に対する分析

- ・マーゴ、バロー及びゲンキーなどの買い物利用者や通院利用者が多い
- ・順調に利用者数が伸びてコロナ禍以前よりも利用者数は増え、対前年度比9%増となった。
- ・マーゴ、バローの商業施設、わかかさプラザ、中濃厚生病院の公共施設、病院施設の利用増のほか、せきてらす前の乗降が増えており、観光客の利用も増えていると考察する。

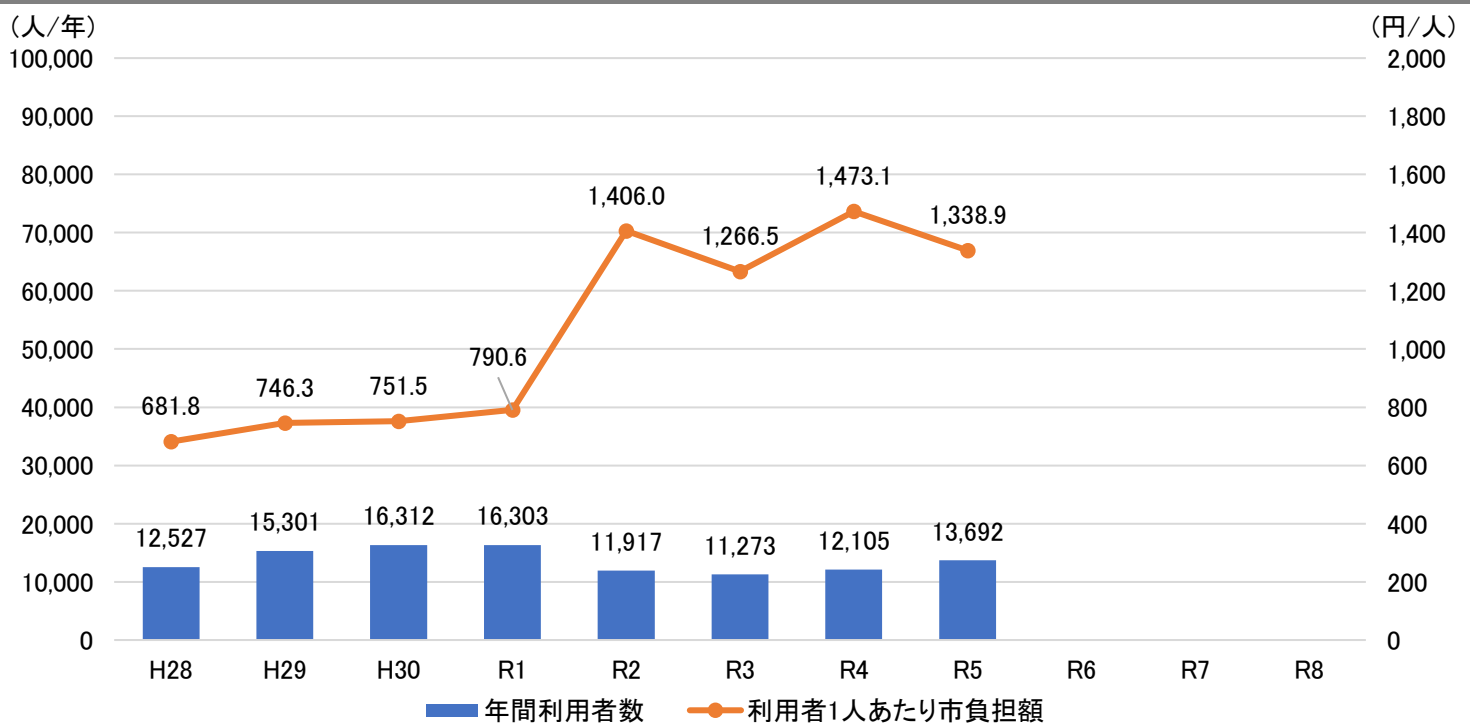
次年度以降の方針・取り組み

- ・市街地利用者の更なる利用促進を図る

わかくさ・小金田線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	12,527	8.7	681.8	9.8	11,400,480	1,114,040	8,541,000
H29	15,301	8.5	746.3	9.4	14,212,016	1,329,282	11,419,000
H30	16,312	9.1	751.5	8.8	15,832,550	1,395,853	12,259,000
R1	16,303	9.1	790.6	8.4	16,556,400	1,390,607	12,889,000
R2	11,917	6.6	1,406.0	4.9	20,741,885	1,026,135	16,755,000
R3	11,273	6.2	1,266.5	4.5	21,614,014	980,218	14,277,000
R4	12,105	6.7	1,473.1	4.9	21,694,269	1,070,336	17,832,000
R5	13,692	7.6	1,338.9	4.9	22,250,017	1,085,103	18,332,000
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・小金田診療所、下倉知中バス乗降所新設 (R2.10)
- ・一部バス停巡回順序変更 (R6.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・津保川台や虹ヶ丘などの団地と、マーゴやベイシアなどの商業施設を結ぶ住民の生活の足として機能している。
- ・対前年度比13%増となったが、コロナ以前の利用者まで戻っていない。
- ・マーゴ利用者が全体の約2割を占めているほか、ターミナルでの乗継や中濃病院への移動手段として利用されている。

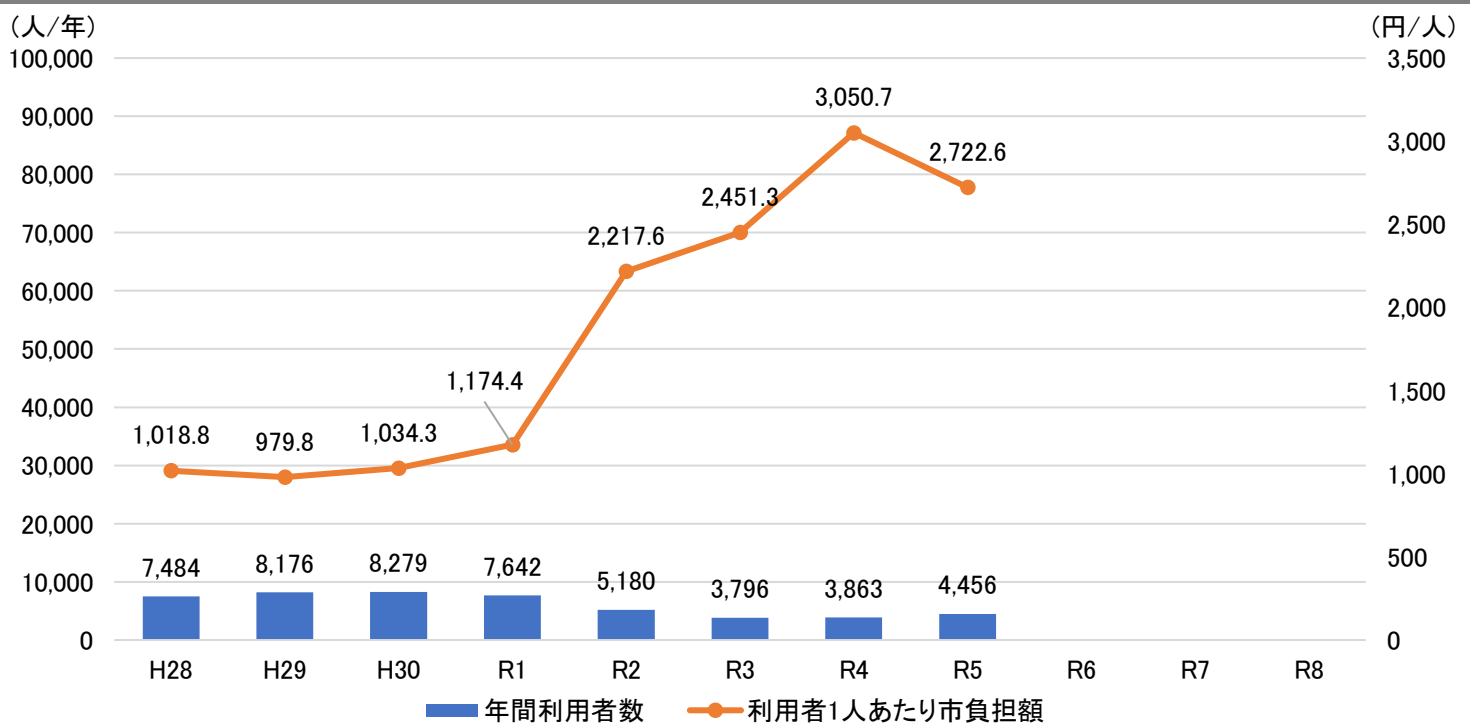
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

わかくさ・千足線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	7,484	4.1	1,018.8	7.2	9,865,408	711,712	7,625,000
H29	8,176	4.5	979.8	8.1	9,833,376	791,833	8,011,000
H30	8,279	4.6	1,034.3	6.8	10,782,374	735,175	8,563,000
R1	7,642	4.2	1,174.4	6.0	11,193,600	676,659	8,975,000
R2	5,180	2.9	2,217.6	3.3	13,986,960	467,549	11,487,000
R3	3,796	2.1	2,451.3	2.8	13,831,128	383,684	9,305,000
R4	3,863	2.1	3,050.7	3.1	14,024,963	435,622	11,785,000
R5	4,456	2.5	2,722.6	2.6	14,327,801	371,554	12,132,000
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ マーゴ経由に一部ルート変更 (R6.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 国道248号線沿いの他、太平台及び千足などの住民が買い物や通院に利用する生活の足として機能している。
- ・ 対前年度比15%増となったが、利用者数は低迷している。
- ・ 千足北団地利用者のほか、赤土坂からの乗降が多いことから、巾地区の住民が市中心部（公共施設、病院）への移動手段として利用している。

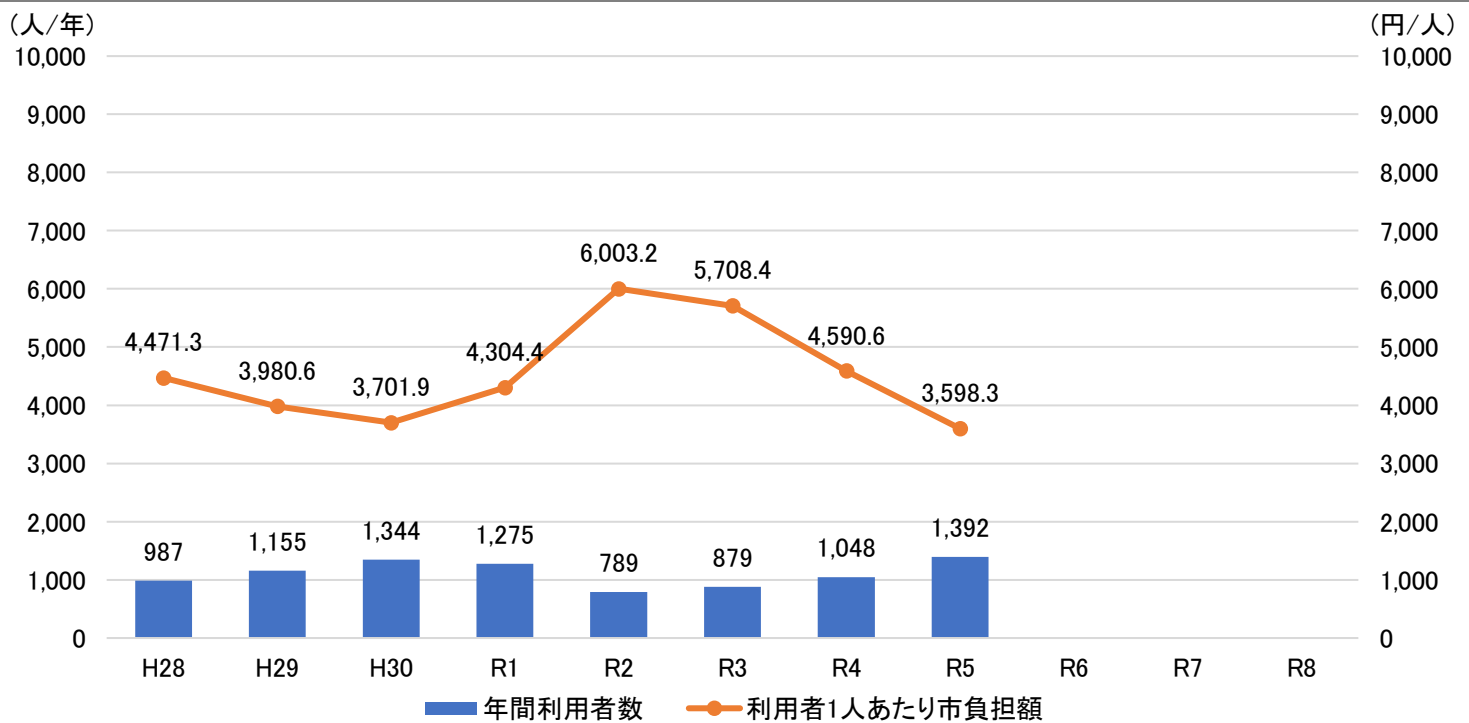
次年度以降の方針・取り組み

- ・ 地元利用者からマーゴ経由の要望が出ているため、R6.4から一部ルート変更し、マーゴ経由し利用促進を図る。

わかくさ・富野線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	987	1.3	4,471.3	3.0	4,680,127	141,408	4,413,127
H29	1,155	1.4	3,980.6	3.2	5,068,222	164,677	4,597,545
H30	1,344	1.4	3,701.9	3.3	5,532,012	180,609	4,975,403
R1	1,275	1.3	4,304.4	3.5	6,080,499	211,347	5,488,152
R2	789	1.2	6,003.2	2.7	5,142,060	138,632	4,736,528
R3	879	1.1	5,708.4	2.7	5,744,512	157,511	5,017,701
R4	1,048	1.2	4,590.6	3.4	5,395,097	182,180	4,810,917
R5	1,392	1.3	3,598.3	3.8	5,705,172	216,352	5,008,820
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ 中屋敷集会所乗降所新設 (R2.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 「小野下」や「藤谷」、「小坂」などで定期利用者を確保できている。
- ・ コロナ禍においては、外出控えの影響で利用者数が低迷していたが、徐々に利用者が回復し、対前年比33%増となった。
- ・ ターミナル乗継と中濃病院への利用者数が増加した。

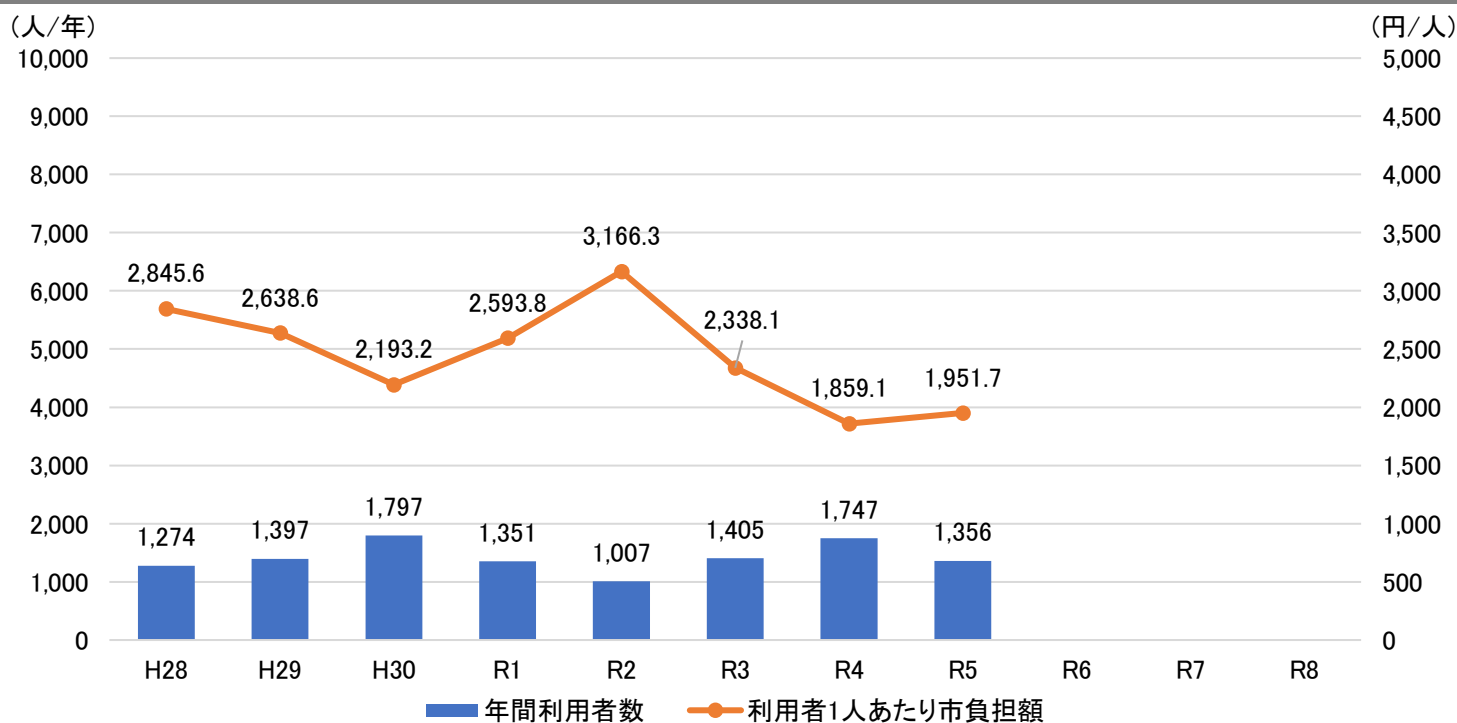
次年度以降の方針・取り組み

- ・ 今後の利用状況を注視し、他の輸送モードへの転換も視野に検討していく

わかくさ・田原線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	1,274	1.7	2,845.6	3.0	3,844,285	116,264	3,625,285
H29	1,397	1.8	2,638.6	3.3	4,065,256	133,062	3,686,194
H30	1,797	2.1	2,193.2	3.3	4,382,169	144,025	3,941,144
R1	1,351	1.8	2,593.8	3.5	3,881,874	134,591	3,504,283
R2	1,007	1.7	3,166.3	2.7	3,461,501	95,070	3,188,431
R3	1,405	2.2	2,338.1	2.8	3,618,699	100,887	3,285,012
R4	1,747	2.3	1,859.1	3.5	3,646,509	126,576	3,247,933
R5	1,356	1.8	1,951.7	3.9	3,016,553	117,020	2,646,533
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ふる里農園美の関乗降所新設 (R3.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・駅や学校への通学その他、買い物などで一定の利用者を確保したが、対前年度比22%減となった。
- ・中日本航空前の乗降が年間で200人以上減少しており、バス運転士からの聞き取りから通学利用者が卒業で利用しなくなったと考察する。
- ・ふるさと農園前は乗降者数は年間45人程度と多くはないが、対前年比で56%増としており、施設利用者が増加した。

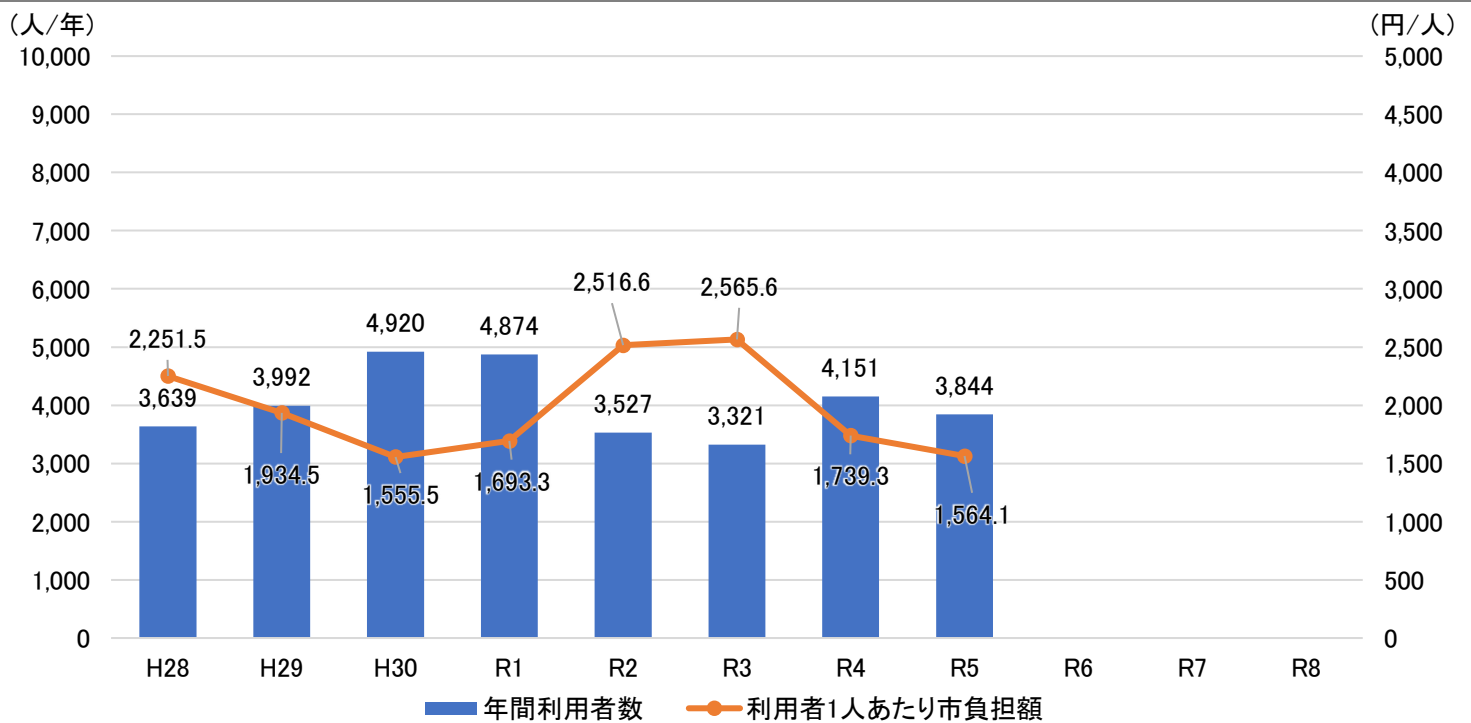
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

わかくさ・迫間線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	3,639	2.2	2,251.5	3.0	8,689,212	262,899	8,193,212
H29	3,992	2.4	1,934.5	3.2	8,513,201	276,503	7,722,698
H30	4,920	2.7	1,555.5	3.3	8,507,935	276,981	7,652,954
R1	4,874	2.6	1,693.3	3.5	9,145,088	318,795	8,253,293
R2	3,527	2.1	2,516.6	2.7	9,631,734	259,554	8,875,880
R3	3,321	2.1	2,565.6	2.8	9,382,690	259,007	8,520,283
R4	4,151	2.2	1,739.3	4.0	8,150,230	323,231	7,219,999
R5	3,844	2.3	1,564.1	4.1	6,874,850	283,423	6,012,427
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・大岩不動口乗降所を新設 (R1.10)
- ・エクセレントハイツ乗降所を新設 (R4.8)

利用者数等の変化に対する分析

- ・迫間台や桜台・稲口などの団地の住民や通院利用による一定の利用者数を確保しているが、対前年度比7%減となった。
- ・特定の地域ではなく、各地域や団地の利用が全体的に減少しており、6～9月の利用減少が多いことから、猛暑による外出控えが影響したのではないかと考察する。

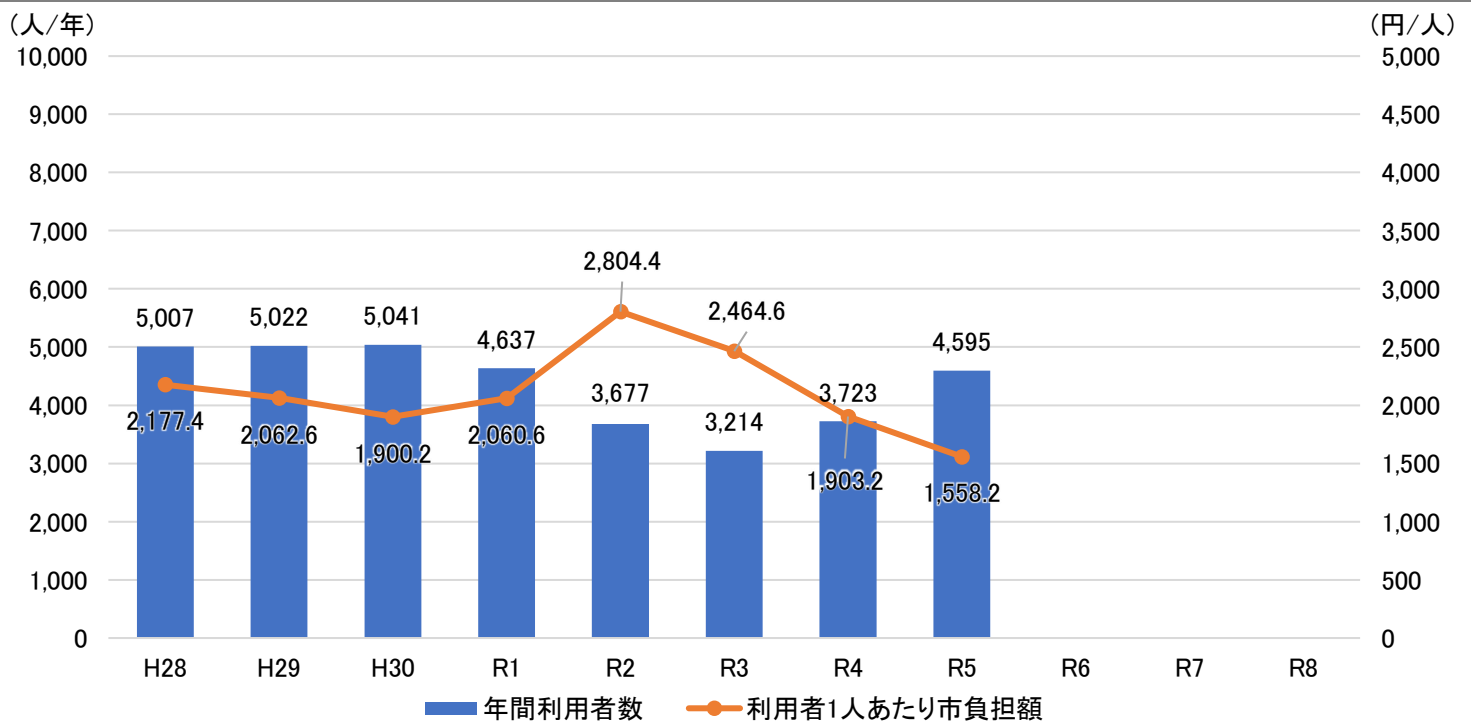
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

わかくさ・向山線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	5,007	3.0	2,177.4	3.0	11,562,356	349,829	10,902,356
H29	5,022	3.0	2,062.6	3.3	11,421,301	372,158	10,358,143
H30	5,041	3.1	1,900.2	3.3	10,652,364	351,285	9,579,079
R1	4,637	2.8	2,060.6	3.5	10,586,719	367,867	9,554,852
R2	3,677	2.3	2,804.4	2.7	11,191,256	302,495	10,311,861
R3	3,214	2.2	2,464.6	2.8	8,722,344	240,695	7,921,249
R4	3,723	2.4	1,903.2	3.5	7,959,172	279,465	7,085,707
R5	4,595	2.8	1,558.2	3.8	8,159,635	312,655	7,159,980
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・今峰クリニック前乗降所新設 (R3.4)
- ・つくし作業所前→稲口橋北に移設 (R5.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・向山を中心とした団地と買い物や作業所への通勤で一定の利用者を確保し、対前年度比23%増なった。
- ・増加人数の半数以上がマーゴでの乗降を占めており、買い物利用目的での利用が増加した。

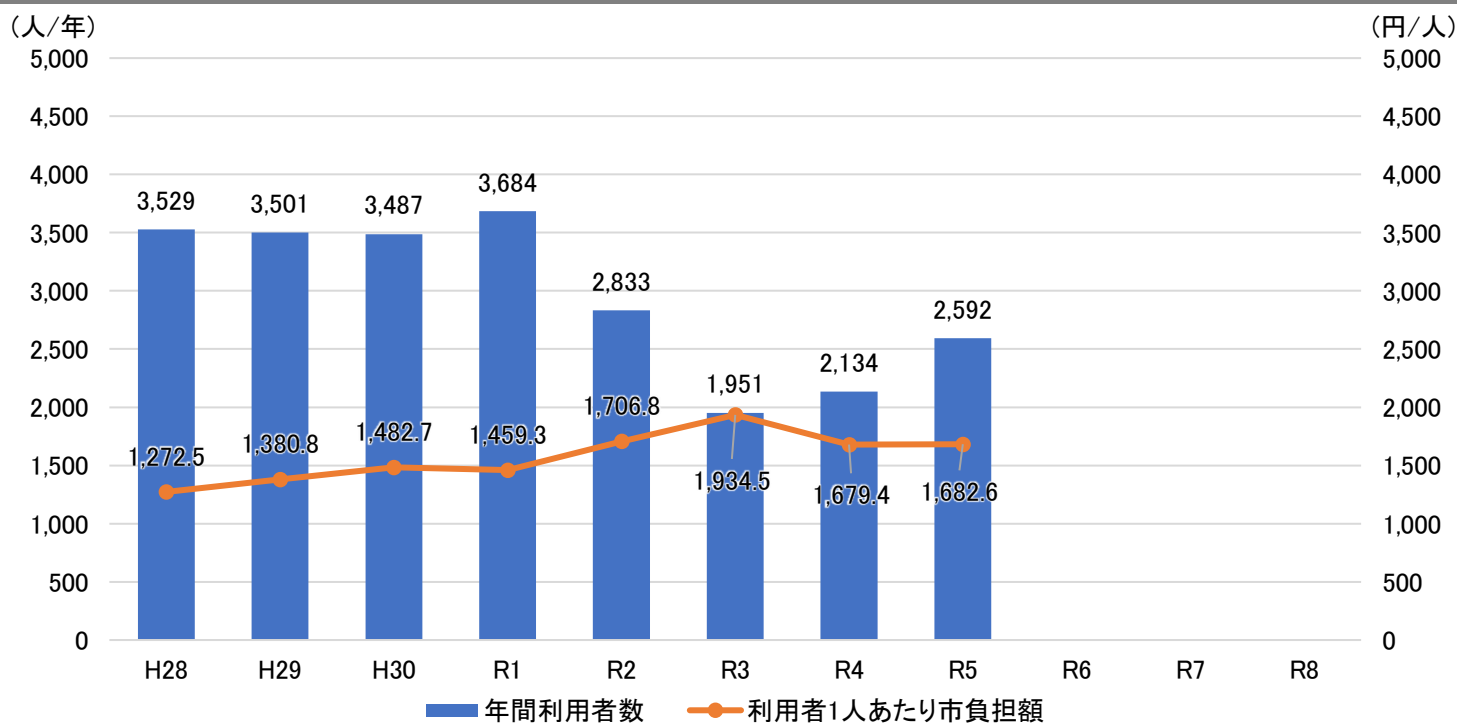
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

関市デマンド乗合タクシー 下有知地区

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	3,529	1.5	1,272.5	16.9	5,657,993	956,400	4,490,593
H29	3,501	1.5	1,380.8	15.7	6,271,842	984,780	4,834,062
H30	3,487	1.4	1,482.7	13.8	6,548,391	904,050	5,170,341
R1	3,684	1.4	1,459.3	14.0	6,833,147	959,250	5,375,897
R2	2,833	1.3	1,706.8	12.1	5,972,457	720,150	4,835,307
R3	1,951	1.2	1,934.5	11.0	4,513,486	495,450	3,774,236
R4	2,134	1.2	1,679.4	12.3	4,478,300	551,550	3,583,750
R5	2,592	1.3	1,682.6	12.4	5,447,688	675,450	4,361,238
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ 上切西乗降所新設 (R2.4)
- ・ 早川医院乗降所新設 (R2.10)
- ・ 乗降所名称変更「ゲンキー関下有知店」→「ゲンキー美濃インター南店」 (R5.7)

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 対前年度比21%増となった。
- ・ ターミナル、銀行、病院、スーパーへの利用者が多く、生活の足として利用されている。
- ・ 免許返納者の利用が年間553件あり、免許を返納した高齢者の利用が多い。

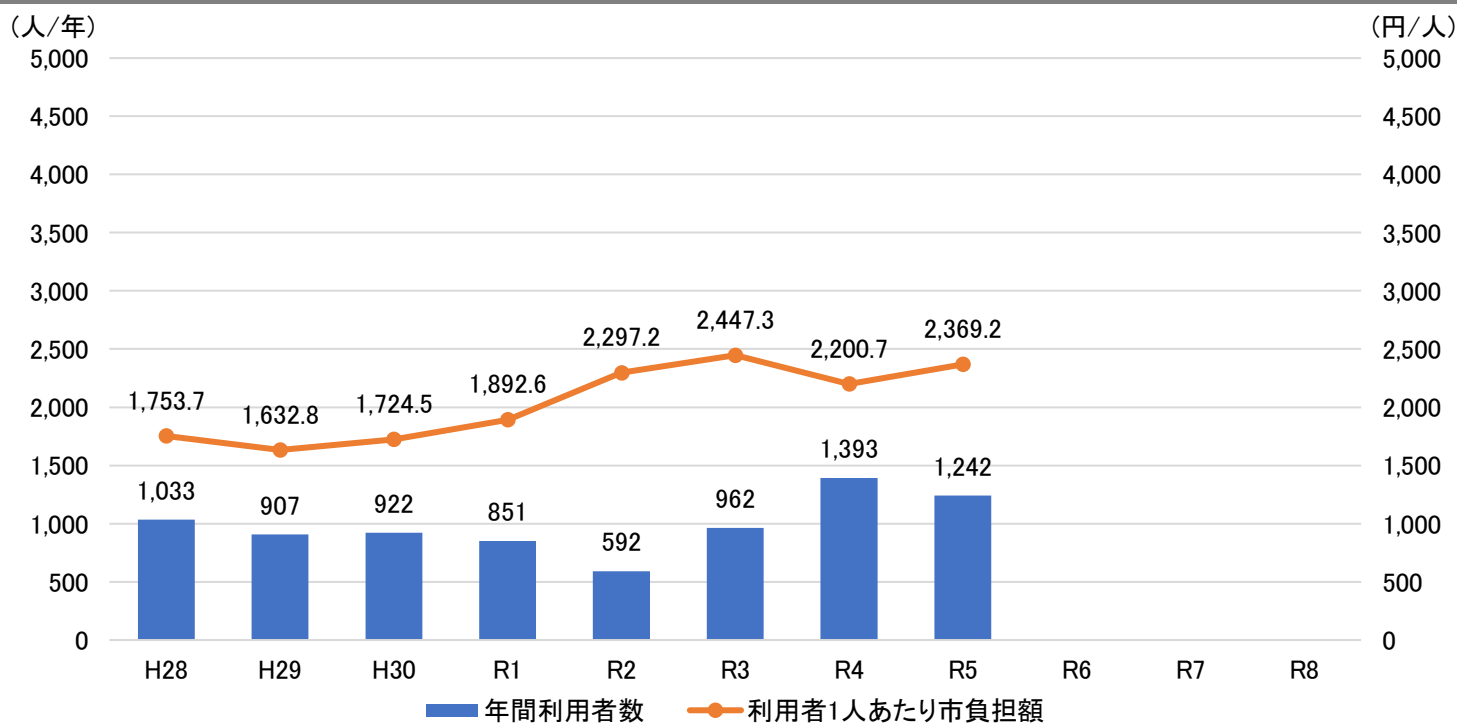
次年度以降の方針・取り組み

- ・ 引き続きデマンドタクシーの周知に努める。

関市デマンド乗合タクシー 瀬尻・広見地区

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	1,033	1.1	1,753.7	11.5	2,135,032	246,450	1,811,582
H29	907	1.2	1,632.8	12.3	1,836,233	225,270	1,480,963
H30	922	1.2	1,724.5	12.1	1,969,169	238,200	1,589,969
R1	851	1.2	1,892.6	11.7	1,986,223	231,600	1,610,623
R2	592	1.1	2,297.2	9.8	1,633,717	159,750	1,359,967
R3	962	1.1	2,447.3	8.5	2,749,448	232,950	2,354,298
R4	1,393	1.1	2,200.7	8.7	3,667,342	319,800	3,065,542
R5	1,242	1.1	2,369.2	8.6	3,510,102	300,600	2,942,502
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・池尻区公民館、鮎之瀬ふれあいセンター乗降所を新設 (R1.10)
- ・乗降所移設し名称を小瀬水源地から小瀬鶉飼南駐車場へ変更 (R3.12)

利用者数等の変化に対する分析

- ・対前年度比11%減となった。
- ・特に関シティターミナルへの利用減少が大きく、多頻度利用者が減少したと推測。
- ・病院への利用者は増加傾向にある。

次年度以降の方針・取り組み

- ・引き続きデマンドタクシーの周知に努める。